



橋下市長が語らない 「都」構想の真実

Q1 「大阪都」にならないうって？



そうです。

A 大阪府は大阪府のまま、「都」にはなりません！

5月17日の住民投票で賛成が1票でも多いと2年後の大阪市解体が決定します。一方、大阪府は「府」のままです。「都」になるには、府全域の「住民投票」か、国会での「法改正」が必要です。結局、「都」構想は、大阪市をなくす「廃止、解体」構想です。

Q2 二重行政のムダを解消すれば、17年間で2700億円が生まれるって…？



ウソです。

A 市資料では「1億円」です。

橋下市長は、二重行政のムダをなくせば「住民サービス」にお金を使える。「17年間で2700億円」生み出せると宣伝しています。ウソです。「法定協議会」に市が出した資料では効果額はわずか1億円です。

橋下市長の言う2700億円の出所は、市民サービスの切り捨てと、地下鉄・市バスやゴミ収集の民間企業への売り飛ばし(2206億円)、病院の廃止、そして市有地の売却代(280億円)などを積み上げただけのものです。二重行政とは無関係です。

福祉・医療、雇用・産業振興は 二重、三重にやっつけてこそ

橋下市長が二重行政のムダとしてあげているのが大学や病院、図書館、産業振興などです。いずれもくらしと経営をよくするためのもので、ムダではありません。二重、三重にやることを求められています。



市民に親しまれ、役に立つ施設——ムダでないのに、「二重行政」と目の敵に！

障がい者交流促進センター	福祉	障がい者スポーツセンター
府立急性期・総合医療センター	医療	住吉市民病院
府立公衆衛生研究所	保健・環境	市立環境科学研究所
府立中央図書館	文化	市立中央図書館
府立体育会館	スポーツ	市立中央体育館
ドーンセンター	男女共同参画	クレオ大阪
マイドーム大阪	中小企業支援	産業創造館
府立大学	大学	市立大学

旧WTCビルとりんくうゲートタワービルは、80〜90年代にゼネコン奉仕でつくったもので、二重行政のせいではありません。今、維新所属の議員らも推進してきたものです。

二重行政 「今は、ない」こと認めた橋下市長

住民説明会で、二重行政のムダと宣伝されている「WTCビルなどは政策の失敗では？」との質問が出ました。これに、橋下市長は「過去の政策の失敗。おっしゃる通りです」と認めました。そして、「今後、ないようにするために」都構想と言っています。「今後」ってことは、「今はない」ということです。

「間違い」の根本にメス入れてこそ 橋下市長が認めたWTCビルなどの「政策の失敗」。この間違いにメスを入れないと、「都」でも「特別区」でも、再び失敗します。橋下市長は、そこには「言もふれていません。「二重行政のムダ」とすりかえているのです。

大阪のええところ

通天閣

大阪のシンボル、「天に通じる高い建物」との意味で「通天閣」と命名。現在は2代目、頂上のネオンは、色の組み合わせで天気予報に。地元新世界の串カツは観光客で商売繁盛。

